

細菌検査「嫌気性輸送用容器」変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、細菌検査用の嫌気性輸送用容器について、メーカーより9月をもって販売終了のお知らせがありました。現行容器の在庫が無くなり次第、順次下記容器に変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

● 項目コード 65 嫌気性培養

変更内容	新	旧
容器名称	シードチューブII	ケンキポーター
メーカー	栄研	TERUMO
採取容器		

採取方法は裏面参照

案内書掲載頁 P.119

変更期日

- 令和6年11月頃予定 在庫無くなり次第、順次変更致します。

液体検体 (穿刺液、消化液等)

注射器で吸引採取した液体検体を、
ゴムキャップを開封することなく注入可能です。

1

ゴムキャップ上の
小円(穿刺部)を消毒



2

注射針を穿刺部に
垂直に差し込み、注入



ゆっくり注入

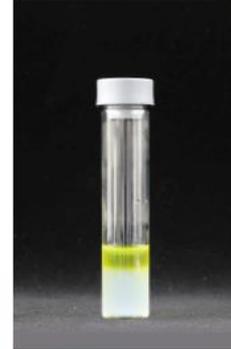
※検体量は容器の
8割までとする



※キャップは開けない

3

速やかに検査室へ輸送
やむを得ず保存する際は、
冷所で保存



※容器は立てて輸送

固形検体 (膿、糞便、組織片等)

固形検体を培地中に埋め込むことにより
酸素の影響を低減します。

1

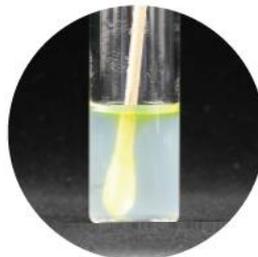
ゴムキャップは
使用直前に開封



※酸素侵入による培地の
着色機構はありません

2

検体を培地中に
埋め込む



奥まで埋め込む

3

ゴムキャップを
速やかに
しっかり閉める



4

速やかに検査室へ輸送
やむを得ず保存する際は、
冷所で保存

※容器は立てて輸送



※綿棒は長さ7cmまで入ります